

理事長・学校長殿
留学生ご担当者殿

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団
理事長 福田 益 和
(公印省略)

「令和3年度専門学校留学生受入情報カード」の作成について（原稿依頼）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より本財団の事業に格別のご理解を賜りますこと、厚くお礼申し上げます。

さて、当財団は昨年度まで文部科学省「専修学校グローバル化対応推進支援事業」を継続して受託しておりましたが、本年度は、同省令和3年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」につきまして、受託された一般財団法人日本国際協力センター（以下「JICE」と記述）様と、連携機関として共働させていただくこととなりました。

その事業の趣旨に基づき、本調査においては各専門学校における留学生受け入れの実態及び意向をまとめ、留学希望者に広く情報提供を行うことといたします。

つきましては、留学生の受入れが可能な専門学校の情報について、下記のとおり原稿を募集いたしますので、ご多忙な時期かと存じますが、ご協力いただきますようお願いいたします。

なお、ご提出いただいた情報は、JICE 様ウェブサイト及び当財団「専門学校留学生情報サイト」(<http://www.sgec.or.jp/ryuugakuguide/index.html>)に掲載する予定です。

記

1. ご掲載依頼における学校選別について

今回原稿のご依頼は全専門学校へお送りをしております。また、昨年度本財団が受託いたしました文部科学省の令和2年度「専修学校グローバル化対応推進支援事業」内「令和2年度専門学校留学生受入情報カード」の作成にご協力頂きました学校様におかれましては、メールにてお問い合わせいただきましたらば、日本語版・英語版ともに昨年度提出を頂いた情報カードを別途お送りさせていただきます。

2. 原稿の提出について

指定のフォーマットに令和3年度の留学生募集概要（学校情報）についてご記入ください。

留学生の受入れが可能であれば、原稿の提出は可能です。受入条件が日本人と同様の場合も提出可能です。

1校1ページとなりますので、範囲内に納めてくださいますようお願いいたします。

3. 掲載料について

無料

別紙の「ご回答方法」と記入例をご覧ください、ご記入、ご返送いただきますよう、よろしくお願いいたします。

※この調査の実施業務は、株式会社日本ドリコムに依頼しております。ご質問は下記担当部署までお問い合わせください。

■調査票の記入方法・締め切りなどについて
株式会社日本ドリコム（担当：高橋、野口）
TEL：03-6746-0055 E-mail:sgec@n-dricom.co.jp

■調査の主旨・内容について
一般財団法人
職業教育・キャリア教育財団（担当：柴田、田口）
TEL:03-3230-4814 E-mail:taguchi@sgec.or.jp

■ご回答内容・方法■

★ご回答返送締切日：令和4年1月14日（金）※延長可能性有

「令和3年度専門学校 留学生受入情報カード」掲載の御願い

本カード掲載ご希望の学校様は、以下の流れに従い、回答いただきますようよろしくお願いいたします。
なお、本年度よりメール添付のデータ提出に回収方法を統一させていただきます。
掲載する「学校概要」は、留学生向けの情報となります。ご記入の際は、できるだけ留学生が必要としている情報や貴校の支援体制をご記入ください（留学生と日本人の要項が同様の場合は、その内容をご記入ください）。

（1）昨年度ご掲載いただいた学校の場合

同封の回答用紙が下記の URL よりダウンロードできますので、ダウンロードのうえメールにてご返送ください。なお、修正、追記用の前年度貴校掲載ページ（デジタルデータ）を御所望の場合は、メールにて「株式会社日本ドリコム」へお問い合わせください。

E-mail:sgec@n-dricom.co.jp ※掲載内容に変更がない場合でも必ず貴校掲載ページを送付ください。

（2）今年度から新たに掲載を希望される学校の場合

学校概要の御提出は、同封の回答用紙が下記の URL よりダウンロードできますので、ダウンロードのうえメールにてご返送ください。

（3）英語版原稿について

英語版原稿については、日本語版の内容を英語に翻訳してお戻しください。

貴校での翻訳作業が難しいようでしたら、日本版のみでも構いません。

※昨年度英語版の原稿をご掲載の学校様は、修正、追記用の前年度貴校掲載ページ（デジタルデータ）を御所望の場合は、メールにて「株式会社日本ドリコム」へお問い合わせください。

E-mail:sgec@n-dricom.co.jp

（4）受入れ名簿へのご掲載を希望されない場合

お手数ですが情報カード内に学校名と欄外もしくは校名の横に掲載不可とご記入の上、メールにてお戻しください。

※ご返信がない学校様には後日、日本ドリコムより確認のご連絡をすることがございます。

<返送方法>

回答用紙を下記 URL よりダウンロードのうえ、メールにて返信してください。

【ダウンロード用 URL】 <http://www.sgec.or.jp/ryuugakuguide/>

※「MENU」⇒「イベント情報」に掲載しております。

【返信用メールアドレス】 sgec@n-dricom.co.jp

返送期限：令和4年1月14日（金）※延長の可能性がございます。

詳細は当財団「専門学校留学生情報サイト」をご覧ください。

※記載に際してのお願い：ご担当者名、連絡先を必ずご記入ください。

掲載内容確認等で代行会社より後日ご連絡をさせていただくことがございます。

※この調査の実施業務は、株式会社日本ドリコムに依頼しております。ご質問は下記担当部署までお問い合わせください。

■調査票の記入方法・締め切りなどについて

株式会社日本ドリコム（担当：高橋、野口）

TEL：03-6746-0055 E-mail:sgec@n-dricom.co.jp

■調査の主旨・内容について

一般財団法人

職業教育・キャリア教育財団（担当：柴田、田口）

TEL:03-3230-4814 E-mail:taguchi@sgec.or.jp

■ 記入上の注意 ■ 令和3年度専門学校 留学生受入情報カード

1. 下記の記入例にしたがって、記入してください。ふきだし箇所は重要箇所ですので、よくご確認の上、記入してください。

2. 本原稿は事務局では加筆、編集はいたしません。空欄、記載漏れ等がある場合もそのまま印刷されますので、ご注意ください。学校名、所在地の情報は、別紙のアンケート調査票の内容を優先させていただきます。

3. 「留学生情報カード」の掲載条件は、現在留学生受入れを行っている、あるいは、現在留学生数は0名であるが、受け入れることが可能で受け入れを希望している学校様に限らせていただきます。

記入例

★ローマ字表記も必ずご記入ください。

学校名をご確認ください。
※学校法人表記はなしで統一させていただいております。

★学校の正式な英語名をご記入ください。

①左記の項目に従い、貴校独自の留学生受け入れ体制を細かくご記入ください。

②専門用語の日本語指導や独自の留学生への取組をアピールください。

記載の項目以外に独自で実施されている支援があれば、ご記入ください。

重要項目ですのでできるだけわかりやすくご記入ください。

★令和3年10月1日現在の留学生募集学科概要をご記入ください。

■学校概要 学校名(ローマ字) Oosaka kougyou gizyutu sennmonngakkou 大阪工業技術専門学校 学校名(英語) OSAKA COLLEGE OF TECHNOLOGY 留学生在籍者数 37名(入学時学生(大卒・短大卒以上)保有率 16%) ※平成30年10月15日現在 留学生に対する方針・本校の独自の個別フォロー体制 インターンシップ状況 本校は平成27年度より23年の歴史をもつ専門学校となります。主に建築・機械・電気・電子分野における職業教育を2年の月日を通し、留学生に施し、社会に出てからすぐに活躍できるような人材を目指すため、本校は特におおきく力を入れています。(本校はそれらの能力を総称して「真の仕事力」と呼んでおり、専門学校のロボット競技会に出場しロボットの競争課題を行う等の課外学習を学んでほしいと考えております。なお、本校では日本での就職のみならず、留学生本人の希望に応じて大学編入に向けての指導体制も整えております。 留学生のインターンシップ実施 <有> (具体的な取組の内容) 夏期・春期休暇期間を利用し、希望職種に応じ理解度を深め、卒業後の進路として見据える。 (インターンシップ先の業種) 建築業、製造業 留学生対象の就職支援 ■就職指導(全般) ■履歴書、経歴書の作成指導 ■面接指導 □その他指導 海外連携企業 <無> (海外連携の内容) アルバイト紹介 <無> アルバイトポリシー 留学生対象の制度 (特待生制度、学費の免除) 法務省より告示された日本語教育機関より、一定の基準(日本語能力・出席率等)を満たした上で推薦を受けた者については、『留学生公募制推薦入試』が利用できる。 【入学者特典】年間授業料の一部(30万円)を減免。 ※修業年限が2年のため、2年間(合計60万円)の減免。 (奨学生制度) 1.【文部科学省外国人留学生学習奨励費給付制度】 2.【(一財)共立国際交流奨学財団奨学金】 3.【(株)共立メンテナンス奨学金】 4.【福田学園日本語能力試験奨学金】 1年生在学時にN1合格者:10万円給付 N2合格者:5万円給付 ※入学時にN1を取得している方にも10万円給付いたします。 その他受け入れ条件 日本語教育機関での出席率 90%以上 身元保証人 <要> 外国人登録者でも可能 宿舎の紹介 <有> 大専各連携企業より斡旋 日本での生活指導・オリエンテーション等 担任制度を敷いていることから出欠状況の厳密な管理を行うと共に、専修学校で学ぶ専門用語等のフォロー(補習)を必要に応じて行っている。		〒530-0043 大阪市北区天満1-8-24 TEL:06-6352-0091 FAX:06-6352-0135 URL:http://www.oct.ac.jp (担当)事務課 E-mail:info@oct.ac.jp 最寄駅 地下鉄大橋駅 留学生用試験の有無 <有> 本学留学生の主な出身国・地域 ベトナム17名、中国7名、台湾3名、韓国5名、インドネシア1名、グアテマラ1名、カンボジア1名、マレーシア1名、モンゴル1名 留学生選考試験 (受・付)10月1日～3月20日 (試験日)10月6日～3月23日までの全11回 (試験科目)一般入試の場合:筆記試験(日本語)と面接 ※『留学生公募制推薦入試』の場合:書類審査と面接(選考方法) ■書類審査 ■筆記試験 ■面接 □適性検査 □その他 ※『書類審査 □筆記試験 ■面接 □適性検査 □その他』へ別途、お問い合わせください。 (選考料) 22,000円 ※『選考料免除』 取得資格状況 (検定、国家資格の名称等) 建築士/建築施工管理技士/土木施工管理技士/施工管理技士/造園施工管理技士/電気工事施工管理技士/建設機械施工管理技士/インテリアプランナー/インテリアコーディネーター/CAD利用技術者/電気工事士/家電製品エンジニア/機械設計技術者/他多数 (就職先業種・職種) 建設業界・機械業界・電気電子業界、その他 国内就職先企業及び進学先等 (就職先企業名) 新建築設計/南大和ハウス工業/新旭化成住宅建設/南ミサホーム/関西原産生工業所/須賀工業/南安井工業/南島羽瀬社寺建築/南スペース/南和設計/南アール/南(一財)日本建築総合試験所/大阪府カワサキ市/南機械/南西田機械工作所/南三栄金属製作所/南山本金属/昭和電機/南大和ハウス工業/新旭化成住宅建設/南ミサホーム/建設設計 (進学先大学名) 京都工芸繊維大学、信州大学、福井大学、奈良女子大学、近畿大学、東大、大阪産業大学 他 京都工芸繊維大学、福井大学、近畿大学、大阪産業大学、摂南大学 他 前年度留学生の実績人数 (就職) 9 名 / (進学) 2 名
--	--	--

★最寄駅: 利用頻度の高い駅名をご記入ください。

★人数、%も忘れずご記入ください。※1

★上記の赤字部分「留学生受け入れ状況」(今年度「留学生登録者数」)の内訳人数をご記入ください。合計は※1と同数。

枠内の■のみ実施されます。
□は実施されません。

特筆すべき受験資格がある場合は、ここに記入ください。

可能な限り多くの会社名、進学大学名をご記入ください。

前年度の留学生の就職者人数および進学者の人数をご記入ください。

令和3年度募集学科概要(平成30年度)

学科名	専門士	性別	募集定員	入学時期	修業年数	学費	授業時間数・年間・週【講義・実習】
建築学科(定員80名)★ 設備環境デザイン学科(定員25名)★ インテリアデザイン学科(定員40名)★ ロボット・機械学科(定員40名)★	士	共	—	4	2	入学金:150,000円 初年度学費(委託徴収金を含む):1,054,000円 ※『留学生公募制推薦入試』の特典(年間30万円)対象者は上記学費から減免されます。	36時間/週 年間34週 【 : 】
大工技能学科(定員40名)※1★ 建築設計学科(定員40名)※2★	士	共	—	4	2	入学金:150,000円 ※1.初年度学費(委託徴収金を含む):1,204,000円 ※2.初年度学費(委託徴収金を含む):1,154,000円 ※『留学生公募制推薦入試』の特典(年間30万円)対象者は上記学費から減免されます。	36時間/週 年間34週 【 : 】

職業実践専門課程を実施している学科には★印を付けてください。

※記入例は、平成30年度の掲載内容となります。